

## ■ 新着図書のご紹介

### 国見図書館

#### 「ばっちいもの健康額」

藤田紘一郎 (著)

ウンコ、オシッコ、ウジ虫…これらから連想されるキーワードは“ばっちいもの”。多くの人が嫌い排除してきたものである。東京医科歯科大名誉教授の著者は、これら“ばっちいもの”の研究者で、おなかの中にサナダ虫を飼っているそうだ。

本書で著者は、パンダやコアラが母親のウンコを食べることや、糖尿病患者の皮膚潰瘍の治療法として、ウジ虫療法が新しい治療法として注目されていることなど、驚きのエピソードを紹介。清潔志向が免疫力を低下させ、身体的にも精神的にも脆弱な日本人をつくったと訴えている。著者のようにサナダ虫をおなかで飼うことには抵抗があるが、とにかく興味が湧く一冊である。

### くにさき図書館

#### 「力士の世界」

33代木村庄之助 (著)

朝青龍問題、時津風部屋の力士死亡問題と最近では何かと暗い話題の多い相撲界。よく言われる「伝統」「品格」って一体なんでしょう？ 一般の人にはなかなか理解できない独特の所作や慣習をわかりやすく説明してくれる本が「力士の世界」です。

「塵浄水 (ちりちようず)」「四股 (しこ)」などの言葉に込められた歴史、「はず」「押付け」「四つ相撲」など耳にすることはあるけど詳しくは解らない相撲用語の意味、相撲のしきたり、勝負の厳しさ、相撲協会という組織についてなど興味深い話が盛りだくさんです。

強くなければ力士になれない、美しくなければ相撲と言えない。50年以上にわたって相撲界に関わってきた著者だからこそ書ける相撲界へのメッセージです。

この本を読んで大相撲を観戦すれば、また一味違った楽しみ方ができるかもしれませんね。

### 武蔵図書館

#### 「ゆうびんやさんおねがいね」

サンドラ・ホーニング (文)

もうすぐ遠くに住んでいるおばちゃんの誕生日。おばあちゃんが喜ぶプレゼントを思いついたコブタ君はお母さんと郵便局に出かけます。

そのプレゼントとはおばあちゃんを「ぎゅっ」と抱きしめること。

とっておきのプレゼントを届ける為に色々な動物の郵便屋さんの「ぎゅっ」のリレーが始まります。プレゼントを届ける人たちも幸せにしてしまうステキなリレーの始まりです…。

こんな郵便が届いたらどんなに嬉しいでしょう！ いつも当たり前に使っている郵便ですが、この絵本を読んだ後にはきっと心をこめた郵便をおくってみたいくなるのでは？

心がほんわりするステキな絵本です。

### 安岐図書館

#### 「きっかりはったり おりがみでおみせやさん！」

いまいみさ

おりがみを中心に、ティッシュペーパーなど身の回りにある材料で、ちょっとびっくりするくらい素敵な作品が作れる本です。ティッシュや厚紙で作った形の上におりがみを被せて飾りを付けるという方法で、ケーキや時計、家具などを作るだけで、とても簡単なのですが、不思議と仕上がりがおしゃれなのです。大人の方が夢中になりそうです。安岐図書館でも、ケーキ屋さんとドールハウスを作ってカウンターのところ飾っています。小学生に作り方を教えたら、とても上手に作っていました。

寒くなるこれからの季節、ご家庭や幼稚園・保育園で楽しんでもらえたら嬉しいな、と思える一冊です。



# 図書館 だより

開館時間 午前10時～午後6時

## 図書館カレンダー 1月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

■ は休館日。31日(木)は資料整理のため休館です。

問い合わせ 国見図書館 ☎0978-82-1585  
 くにさき図書館 ☎0978-72-3500  
 武蔵図書館 ☎0978-69-0946  
 安岐図書館 ☎0978-67-3551

## ■ 図書館行事のご案内

### ◆国見図書館

#### おはなしひろば

12日(土) 午前9時30分～

26日(土) 午前9時30分～

竹田津改善センター

### ◆くにさき図書館

おはなし会 13日(日) 午前10時30分～

おはなし会 26日(土) 午後2時～

### ◆武蔵図書館

#### おはなしのへや

9日(水) 午後3時30分～

16日(水) 午後3時30分～

#### 移動図書館

17日(木) 午後1時30分～2時

吉広地区

24日(木) 午後1時～1時30分

武蔵西小学校

### ◆安岐図書館

ひまわりの部屋 12日(土) 午前10時30分～

## 武蔵図書館で貸出冊数70万冊を達成!

武蔵図書館が、平成3年の開館からの貸出冊数が12月9日(日)で70万冊を達成しました。70万冊目となったのは、武蔵町古市の溝部僚子さんと、認定証と記念品が贈られました。溝部さんは「今は小説に興味があります。これからは沢山利用したいと思います。ありがとうございます。」と話していました。

